

## 世宗学堂ジャーナル⑧

### 「音楽の力で笑顔を」 金オム 先生（カセゾム講師）



韓国伝統楽器である「伽倻琴」と出会って  
早30年以上の月日が過ぎた。  
人生の大半を一度も休むことなくこの楽器  
と共に過ごしてきた。  
もしこの楽器と出会っていなかったら私は  
今頃何をして過ごしていただろうか。  
「継続は力なり」という言葉をよく聞くが、  
芸術家にとってまさにこの言葉はぴったり  
当てはまる言葉である。

韓国での勉強を終え日本に戻ってきた時、果たして伽倻琴しか知らない  
私に日本でできることがあるだろうかと何度も頭を悩ませた。  
しかし不思議なことに、人とのご縁を通じて少しずつではあるが、音楽  
の仕事が私に舞い込んできた。  
今思えば、下積み頃は、楽器がただ好きで舞台が楽しい、それに専ら  
なかった。  
その頃は、自分の夢だけでいっぱいだった。

しかし長い年月が経ったある時、私は何のために演奏するのか、とふと  
考えたことがあった。私の舞台を見て、人に感動を与えられた時、カセ  
ゾムを教えて生徒さんが楽しんでくださった時、そして四季にいながら  
こうして自分の国の文化を伝えることができる事が、私にとっての喜び  
や幸せなのだ。私が演奏する意味の答えをすぐに見つける事ができた。  
私は、この音楽活動を通じて、日々多くの人との出会いがあり、その方  
たちに刺激されながら、一つの事を粘り強くやり抜く力を学ぶことがで  
きた。なにより、人に喜んでいただけるやまがいのあるものに出会えた。  
私は、一つの事を継続し、それを諦めなかった事によって一生の財産を  
得ることができた。  
これからも、この素晴らしい韓国の伝統文化を大切に日本で伝えていけ  
たら、どんなにありがたいことだろう。

しかし今現在、思いもよらぬ事態が起こっている。  
世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス。  
この感染症により大きな影響を受け、辛い日々を送っている方々も多い。  
私自身、コンサートやイベントの中止などで急に仕事が無くなった悲し  
みを初めて経験した。

しかし嘆いていてばかりでは、前に進めない。今の私にできることは何  
か？と少しずつ考えるようになり、私に今できることは、やはり音楽の  
力で人々の心を元気にし、立ち向かうことだと思っている。



コロナ発症の直前に撮影された写真

音楽の喜びをどんな時も忘れずに、  
韓国の伝統音楽で楽しんでいただ  
けるよう仲間たちと一緒に手を取  
り合って、早急に努めたい。  
再びコンサートホールで皆さんの  
笑顔を見ること、生徒さんたちの  
笑顔を見ること、韓国と日本の懸  
け橋になれることを信じて！